

平成 29 年 6 月 18 日

学校法人三幸学園
福岡医療秘書福祉専門学校
校長 岩本 克也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 糸山 龍介

学校関係者評価委員会報告

- 平成 28 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 糸山 龍介 (医療法人社団 廣徳会 岡部病院)
- ② 小田 商平 (医療法人井上会介護老人保健施設 サンライフ陽光苑)
- ③ 藤田 憲子 (福岡興業株式会社)
- ④ 毛利 麻美 (卒業生)
- ⑤ 相良 翔子 (卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

平成 29 年 6 月 3 日 (会場 福岡医療秘書福祉専門学校 201 教室)

平成 29 年 6 月 18 日 (会場 福岡医療秘書福祉専門学校 201 教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以 上

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和60年の開校以来約30年にわたり、『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳、「三幸学園の原点 あきらめない教育」に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「ビジョンミーティング」、「サマーセミナー」においては、学園長及び理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、各姉妹校で行われる年3回の全体会議にて共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「成功の法則」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・人間性を高める教育の実践

「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成することを、目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考えている

・挨拶指導、清掃指導の強化

コミュニケーションの基本である挨拶についてはTP0に応じて実践できる様にきめ細かい指導を実践している。また、清掃指導についても自ら率先して実践することができる様に日々の取り組みを積み重ね、習慣化できる様に指導強化していく。

・産学連携の促進

ボランティア、短期／長期インターンシップの機会提供を積極的に行い、公開講座や学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等を通じたアドバイスを取り入れながら業界・地域密着型の学校運営を強化していく。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	委員会評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	5
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	5
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

<現状および今後の方針>

- ・継続して『教育理念、人材育成像』を内外に浸透していく事で学校の教育特徴を創り上げていく。
- ・HPや掲示物や教員によるたび重なる積極的な外部、保護者への目に留まる掲載と呼びかけを継続する。
- ・業界の動向やニーズを実習アンケートで得たデータを元に分析し、教務方針・目標に取り入れた。
- ・スタートアッププログラム(新入生研修)や学校生活でのクラス目標設定等の際、理念および教育方針の浸透に向けた積極的な働きかけを実施している。

<特記事項>

- ・体系化された教育理念、ビジョン、ミッション、人材育成方針を教務指導目標に取り入れ、具体的な指導を計画し、取り組んでいる。
- ・学生への理念浸透ポスターをリニューアルし、全教室へ掲示。新入生への研修時に浸透させるための内容を実施。
 - ・ロールプレイの重要性について、昨年度の委員会にてご意見を頂いたため、挨拶のロールプレイに関しては、実習前に実践できる時間を増やし、臨ませる取り組みを行った。

<学校評価委員会意見>

- ・今年の実習生の挨拶は昨年よりすごく良い。意気込みや具体的な目標などを絞っていることがわかる挨拶をされたことで印象が良かった
- ・学生なので多くを求めてはないが、職員や他の実習生より早く来て掃除しているところなどを見るとやる気を感じる。そういった様子が職員間で共有され、実習生に採用のお声掛けをする場合がある。
- ・社会人になって実践しておけばよかったことは、電話の出方。ビジマナではやるが実践している感覚が少ない。言葉遣いや話し方など、基本的なビジネスマナーをもっと実践的にできたらよかった。挨拶は普段からやりなれていないとできない。挨拶しやすい環境づくりが大切だと思う。

(2). 学校運営

【評価項目】	委員会評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	5
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5

人事、給与に関する制度は整備されているか	5
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	5
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5

<現状および今後の方針>

- ・継続的に健全且つ安定的な学校運営を行うと共に、各教育取り組みや活動については積極公開していく。
- ・就業規則(特に勤怠管理)遵守を徹底し、ワークライフバランス・業務の効率化を積極的に推進する。
- ・三幸グループ全体でコンプライアンスDVDを制作し、コンプライアンスやハラスメントに関する意識を高める啓蒙活動を展開している。

<特記事項>

- ・就業規則、職員行動指針を設定し、年度毎に改訂している。また内容は、職員会議にて共有している。
- ・年3回、全教職員に向けて会議内にて運営方針の浸透と情報共有を心掛け、具体的取り組みを提示している。

(3). 教育活動

【評価項目】	委員会評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	5
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	5
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	5
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	5
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	5
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

＜現状および今後の方針＞

- ・医療機関や福祉施設、保育園との産学連携のさらなる強化を図った。具体的な教育機会として27年度初めて学会等への研究機会にも参画し、学内における研究発表を実施した。学校関係者評価委員及び実習等で関連する企業・関係者様のご意見を頂戴しながらさらなる教育の質実向上に努めていく。
- ・教育課程編成委員会が各校開催となり、実際に教育課程編成委員からの意見を元にカリキュラム運営や実習運営の改善に繋がる意見を収集できる機会を持てるようになった。

＜特記事項＞

- ・各実習先様へ依頼している実習アンケートを元に教務指導方針の具体的教育内容を検討する際の材料とし、本校学生の現場における外部評価・授業満足度の向上に努めている。
 - ・授業アンケートや教員間の授業見学会を促進し、授業の質の向上に努めている。
 - ・教育力／指導力向上の為に、教員向けに研修を実施している。
- (平成 28 年 8 月発達障害における生徒指導に関する勉強会、アクティブラーニング教員研修を実施。継続実施を企画する)

＜学校評価委員会意見＞

- ・自己分析やフィードバックが大切。実習を実習だけで終わらせない取り組みを行っていく。新人研修は、一か月間部署を回り、毎日レポートを提出させている。目標を設定することが重要。
- ・実習時は毎日違う部署に行き、協働していることを学んだ。実習指導担当の際に各部署を回るようにしたところ実習生が喜んでいて、他部署を見ることは大切。
- ・実習日誌に関して記録をかける力が大切。その中でも「気づき力」を見ている。その日やったことだけでなく気づきや感想、反省も書いてほしい。日誌に関しては職員内で共有がされることもあり、職員の気づきにもなる。
- ・発達障害の障害者雇用は行っているが職員への教育は行っていない。理解についてはなかなか難しい現状がある。実習生に関しては事前に情報共有しておくべき事項である。
- ・実習を受け入れる際の情報共有や実習実施中の実習巡回での教員フォローの体制はとてもよくできていると感じる。そのような体制があれば実習生とともに教育していける。今後も実習時の連携は強めていきたい。

(4). 学修成果

【評価項目】	委員会評価
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	5
退学率の低減が図られているか	5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

＜現状および今後の方針＞

- ・求人や実習先の新規開拓とともに就職先が求める人材像の把握のため教職員の積極的な医療機関、施設、園への訪問を実施。現場での人材ニーズを把握し、それに合う教育を行っていく。
- ・継続して各種教育アンケート(授業・実習・卒業生)を実施し、課題発見と具体的な施策検討を進める。
- ・早期の就職活動を促すこと目的として、就職ガイダンスの時期や方法論を調整していく。

＜特記事項＞

- ・退学率の低減のために、保護者との連携を強め、教員間でも情報共有と連携したサポートを行っている。
- ・退学率低減を目的に退学者アンケート実施し、対応の改善を検討した。また退学者報告書をリニューアルし、報告内容として具体的な対応を明記し、課題発見・改善する。
- ・業界と連携した短期インターンシップの実現により、就職後のミスマッチを無くす（軽減する）取り組みを積極展開していきたい。

＜学校評価委員会意見＞

- ・介護福祉科の現状としては、就職希望者のニーズとして、職業訓練性は介護事務に就きたいという傾向もある。診療情報管理士科の就職は、診療情報管理士としての就職は10名もおらず、減っている現状がある。他は医療事務や医師事務として就職。求人も診療情報管理士科希望の医師事務の求人が増えている。
- ・退学者については、クラス内でのコミュニケーションや雰囲気作りが重要だと思う。退学希望者は学校内に居場所がなくなるため、無理やりでも居場所を作る取り組みが有効ではないか。

(5). 学生支援

【評価項目】	委員会評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	5
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	5
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

＜現状および今後の方針＞

- ・就職業務担当者を増やし、全体指導及び学生個々への支援とサポートのさらなる充実を図った。
- ・高校既卒や社会人の学びのニーズに年々高まっている事から再進学や学びなおしに対応すべく教育体制の整備を推進する。
- ・教務業務担当者を増やし、生活指導や学生個々への教員の指導格差是正と各学科における学校生活内での生活指導の構築を図る。

＜特記事項＞

- ・担任が奨学金関連の事務手続きを行い、自クラスの学生の経済状況を把握する。必要であれば面談を実施、生徒本人からの相談窓口が明確化された。
- ・カウンセラーを配置し、個別の悩みや相談に対応する環境を設定している。

教員が訪問の強化。業種理解。実習前挨拶

(6). 教育環境

【評価項目】	委員会評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5
防災に対する体制は整備されているか	5

<現状および今後の方針>

・継続して校舎および設備については保守管理企業様と円滑な連携の上で安心・安全な教育環境の維持向上に努める。

<特記事項>

- ・全教室へ避難経路マップを掲示し、年度初めに確認を行う時間を設定した。
- ・防災啓蒙・避難マップを全校生徒へ配布し、ホームルームで具体的な避難経路の確認等の時間をつくり、防災意識を高める取り組みを行った。

<学校評価委員会意見>

- ・病院の防災対策に関しても今から作っていく必要があるところで、実際に動いてみる(訓練)取り組みも必要だと感じている。
- ・学校校舎について、特に改装等必要な状況だとは感じない。ただし、壁の補修等は検討してもよいのではないか。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	委員会評価
学生募集活動は、適正に行われているか	5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	5

<現状および今後の方針>

・教務(教育成果)と広報(募集活動)の連動を常に意識し、高校生・社会人・留学生等の多様な学びのニーズに応え健全な学校経営の基盤となる学生募集に尽力していく。また、近年は学費支払いが困難である事を理由に進学を辞退する学生も多くなっている為、特に保護者様に対して入学説明会やパンフレット等を通じ明確な学費サポート体制や学納金の総額をわかり易く伝える事に努めていく。

・今後は、グローバル化の世情と学びのニーズに対応すべく、留学生の受入体制も構築していく。

<特記事項>

・地域で設置されている広報室と連携しながら、対外折衝・高校への説明会・オープンキャンパス等の機械を通じて魅力を正確に伝えられる様に計画的に活動を展開している。

・平成30年度入学者を対象として、29年度よりAO入学制度を実施する。

→入試時期が早くなっている

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度中新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	委員会評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	5

<現状および今後の方針>

・自己点検／評価は学校関係者評価委員を通じて問題点の明確な洗い出しと具体的な改善策を検討する。
また、実施結果は7月を目処に学校ホームページ等を通じ評価の公開を実施していく。

<特記事項>

- ・法令／コンプライアンスの順守と個人情報の保護・管理の徹底に努めている。
- ・個人情報取扱の為の同意書の記入と個人情報管理の徹底の周知を職員会議等で行い、教職員の意識向上に努めている。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	委員会評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	5
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	5

<現状および今後の方針>

・地域や一般の方々に向けた公開講座やイベントを企画し、学生の学びと連動する機会を設けていく。また、市町村および関連企業様との連携やボランティア活動の情報収集を強化しながら地域の活性化と貢献度の向上に繋がる教育活動を数多く行っていく。

<特記事項>

- ・継続して医療機関・施設へのボランティア参加などを推進し、主に就職担当者中心に実習以外での学びの場を整備していく。
- ・介護福祉科では、5施設 20時間以上、ボランティア活動をするように規定を設け、生徒に奨励をしている
- ・H21年度より毎年職業訓練の委託を受けている
- ・地域における養成校の役割として、H28年度は介護福祉科として新たに2つのことを実施。
 - 1つめは、実習施設の職員様向けの講習会を学内で実施。(認知症の理解、技術指導)
 - 2つめは、地域のふれあいサロンにボランティアに行き、レクリエーションを実施させていただいた。

<学校評価委員会意見>

- ・教員が率先して現場へ出向いたり、実際に取り組んでいただいたことは嬉しい。もっと現場の高齢者の中には、そのような機会を望んでいる方が多くいらっしゃる。是非、今後も継続して行って頂きたい。
- ・院内の勉強会や研究発表会への学生参加は可能。学生の期待にこたえられるかどうか分からないが、学生の勉強会への参加を検討してもよいのではないかと。
- ・学会発表のやり方は就職してから周りに教わった。学校の授業の中に、勉強会や学会での発表を目的とした専門の授業があるのなら有効だと思う。

以上